



2023 年 7 月 4 日

農林中央金庫

欧州投資銀行の発行するサステナビリティ・アウェアネス・ボンドへの投資について

～300 百万豪ドルの投資を通じて、自然災害に対するリスクマネジメントをはじめとした環境・社会的目標を支援～



農林中央金庫（以下「当金庫」）は、欧州投資銀行が発行するサステナビリティ・アウェアネス・ボンド（以下「本債券」）へ総額 300 百万豪ドルの投資を実施しましたのでお知らせいたします。本債券は、持続可能な環境・社会の実現に資する世界の活動・プロジェクトに投資資金が活用されることとなっており、今回当金庫が投資した本債券は「自然災害リスクマネジメント」を重要テーマとしたものです。国連が提唱する 17 の持続可能な開発目標（以下「SDGs」）のうち、「⑪住み続けられるまちづくりを」の達成に貢献し、本債券への投資を通じて SDGs 達成へ取り組む重要性を世界へ働きかけていくものとなっています。

本債券を発行した欧州投資銀行は、EU の融資部門を担う世界最大の多国間金融機関の一つです。さらに、気候変動対策への最大の資金提供者の一つでもあり、EU 内外の経済と地域の発展を支援しています。

当金庫は、2021 年に「持てるすべてを『いのち』に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」を存在意義（パーパス）として定めました。農林水産業を支える協同組織の一員として、農林水産業を含む社会、そして当金庫の事業活動が持続可能なものとなるよう、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進しています。

また、このパーパスの発揮に向けて策定した当金庫の中長期目標では、2030 年度までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を 10 兆円とする目標を掲げており、持続可能な環境・社会や農林水産業につながる投融資を実践していくこととしています。

近年、気候変動に伴い世界各地で風水害・土砂災害など自然災害の激甚化が見受けられるなか、気候変動への適応策の重要性は日々増しています。当金庫は本債券への投資を通じて、自然災害リスクマネジメントの実現に資するインフラ整備等に資金を提供し、安全かつ持続可能なまちづくりに貢献していきます。また、当金庫は、目指す姿である「農林水産業と食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」の実現に向けて、今後も様々な環境・社会課題の解決に貢献する投資に取り組んでまいります。



【本債券の概要】

発行体	欧州投資銀行 (長期債務格付: S&P“AAA”、Moody's“Aaa”)
投資額	総額 300 百万豪ドル (約 272 億円)
期間	10 年

【参考:プロジェクト事例】

ベナン共和国コトヌー市の排水路、雨水溝、貯水池の建設にかかるプロジェクト

本プロジェクトは、コトヌー市の住民 46 万人の洪水リスクを軽減し、持続可能な都市管理の実践、特に気候変動に対する耐性を向上させることを目的としており、投資資金の充当を通じたプロジェクトの実践・進捗によって、コトヌー市における地域経済の持続的な成長を支援することが期待されます。

リンク (英文): <https://www.eib.org/en/projects/pipelines/all/20180092>

*上記の参考事例については、自然災害リスクマネジメントにおける適格プロジェクトの一例であり、本債券で調達された資金の活用が、上記プロジェクトまたはその分野に限定されるものではありません。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 コーポレートデザイン部 広報コミュニケーション班(宮澤、水元)
TEL:03-6362-7172